

日本林業技士会よりのご挨拶

日本林業技士会会長 小林 洋司

遅い春も桜とともにようやく訪れ、新年度が始まりました。

皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、技士会の運営、活動推進に、ご理解ご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

さて、能登半島地震に見舞われ、早、三ヶ月になります。石川県を中心として甚大な被害に見舞われた被災者の方々には、一日にも早く復旧することをお祈り申し上げます。

世界情勢は、中東での戦争、相変わらずのロシアのウクライナ侵攻等不穏な状況が続きますが、食糧不足さらに政府、日銀による金融政策の失策による円安からくる物価高、実質賃金の停滞、企業の原料高から来る業積の不振など厳しい経済状況に見舞われております。

林業を見ますとコロナ後の「建築ブーム」が続き、製材品の不足から木材価格高騰が続いてますが、まだ立木価格には及んでいないようです。林業現場では、未だ、再造林が不可能など厳しい状況が続いているようです。現場では人手不足と労働死傷事故の増加です。

林野庁の施策であります、環境税、環境譲与税に伴う、新たな林野行政に期待したいと思います。

このような状況の中、林業現場で活躍する「林業技士」の皆さんはたいへんな状況と思います。課題山積み、問題山積み、ここでは触れませんが林業労働災害の多発、林業作業者の不足、立木価格、材価の低迷、どれを考えても解決困難な問題ばかりです。現場作業の指導的立場、現場のリーダーとしての立場、重圧は大変と思います。

現場と言っても「林業技士」の皆さんは、行政、事業体としての会社、森林組合、県、市町村、団体の中で活躍しております。それぞれの立場でこのような時期でこそ、何かアイデアを出し問題解決に当たって欲しいと思います。大変な時期を乗り越って初めて、明るい未来が開けます。皆さんの活躍を期待しております。

会員皆様のご健勝とご発展をお祈りいたします。

日本林業技士会の活動に、ご支援、ご指導、ご協力よろしく願います。

令和6年 4月